

**令和3年度 第2回
元気県ぐんま21推進会議、群馬県地域・職域連携推進協議会 議事概要**

- 日 時：令和4年3月9日（水）14時～15時30分
- 場 所：県庁28階 281-B会議室
- 出席者：元気県ぐんま21推進会議委員19名
事務局 健康長寿社会づくり推進課長ほか8名
（出席者合計：27名、欠席者：推進会議委員5名）

【配布資料】

- ・次第（名簿・席次表・設置要領）
- ・資料1 元気県ぐんま21（第2次）進捗状況
- ・資料2 令和3年度事業の実施状況（県の主な取組）
- ・資料3 令和3年度事業の実施状況（各所属の取組）
- ・資料4 第3次群馬県食育推進計画の最終評価案について
- ・資料5 県民健康・栄養調査の実施について
- ・資料6 報告・情報提供
- ・令和3年度第2回元気県ぐんま21推進会議議題に関する御意見について

1. 開 会

2. あいさつ：健康長寿社会づくり推進課長

本日は、御多忙のところ、「元気県ぐんま21推進会議」及び「地域・職域連携推進協議会」に御出席いただき感謝申し上げます。また、平素から、本県における健康増進行政の推進に、御理解、御協力をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

今年度第1回目の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、8月に書面で開催したところだが、本日第2回目の会議をWEB会議により開催させていただいた。

当会議は本県が推進する健康づくり対策について検討・協議をいただくための重要な会議であり、また、お集まりの皆様、地域保健と職域保健の連携により、各施策の普及・推進をはかる場でもある。本日の会議では県からの報告事項について伝達するとともに、委員の皆様からも事業報告をいただく予定である。

限られた時間ではあるが、有意義な会議となるようお願いしたい。

3. 構成員紹介

人事異動により新たな構成員の方のみ紹介。

- ・群馬県保健所長会 鈴木構成員
- ・前橋市 浅井構成員
- ・地方公務員共済組合群馬県協議会 町田構成員
- ・群馬労働局 吉永構成員

- ・群馬産業保健総合支援センター 萩原構成員
- ・群馬県国民健康保険団体連合会 根岸構成員
- ・群馬県看護協会 小飯塚構成員
- ・群馬大学大学院 浜崎構成員

4. 議 事

(1) 元気県ぐんま21 (第2次) 進捗状況

事務局から、資料1に基づき説明。

- ・資料1 元気県ぐんま21 (第2次) 進捗状況について

(質疑応答)

(座 長) 御意見があればお願いしたい。

(委 員) 特になし

(2) 令和3年度事業の実施状況

①県の主な取組

事務局から、資料2に基づき説明

- ・資料2 令和3年度事業の実施状況 (県の主な取組)
 - ・「元気県ぐんま21 (第2次)」の推進
 - ・活力ある健康長寿社会実現のための「群馬モデル」の推進

(質疑応答)

(座 長) 「G-WALK+」をインストールしている方はどのくらいいるのか。是非周りの方にご紹介していただきたい。私も健診の結果を入れただけで500ポイントが付いたのでポイントが貯まりやすくなっている。歩数を稼ぎながらポイントを貯めてもらえればと思う。

(委 員) LINE の群馬デジタル窓口ではメンタルヘルスの不調を訴えられる相談窓口を掲載したら非常に多くの方から連絡があった。「G-WALK+」も何かのイベントとプラスアルファでPRすると使ってみたいと思ってもらえるかと思う。例えば、前橋市ではワクチンの予約を市役所の窓口で一緒にやっているとのこと。コロナ禍ではあるが、窓口「G-WALK+」のダウンロードカードなどをおいておくと周知しやすいかと思う。また、周りの誰かがやっていると一緒にやりはじめることがある。フレイル予防を考えるとお年寄りがワクチンの予約で窓口に来たときなど、「G-WALK+」の案内ができればフレイル予防にもなるし、ボトムアップできるのではないかと思う。

(事務局) 御意見を伺うと参考になる。「G-WALK+」の名刺サイズのカードを作ったが活用できているか不安な部分もあったが、御意見をいただきますと、来年度に向けて準備が

できるのでありがたい。

②各所属の取組

代表して3各の発表者から、資料3に基づき説明

- ・資料3 令和3年度事業の実施状況（各所属の取組）

<前橋市健康増進課 浅井構成員>

資料3（42ページ）に基づき説明

- ・働く世代向けに講演会を実施した。また、講演会の動画配信を行った。
- ・「G-WALK+」を活用した、前橋市職員共済会の取組として、共済会ウォーキングを実施した。課のグループ単位で参加者を募り、歩数によって助成金が支払われるイベントとして開催した。
- ・また、市民向けのイベントとして、「G-WALK+」を活用した前橋ウォーキングチャレンジを実施した。結果については集計中である。
- ・野菜摂取量向上の取組として、前橋市の健康づくり協力店のスーパーにおいて市民向けの食育の取組を実施した。野菜摂取量調査では、若い世代86名から回答を得た。

<協会けんぽ群馬支部 齋藤構成員>

資料3（43ページ）に基づき説明

協会けんぽ群馬支部への加入状況
事業所数 36, 362事業所
加入者数 632, 339名
県民の人口の3名に1名が加入している。（令和3年11月現在）

- ・健（検）診については、県内の7市町村と連携し、3万人の対象者の方へ特定健診とがん検診の同時受診を勧奨している。引き続き、受診しやすい環境整備をし、より多くの対象者の方の受診に繋げていきたい。
- ・健康経営を実施するために「いきいき健康事業所宣言」に取り組んでいる。1月末時点で県内の事業所1,111社から宣言いただいている。年度当初から比べると、344社増えている。宣言事業者数は順調に伸びているが、合わせて取組の内容を確認し、優良事例を横展開して内容のボトムアップも図っていきたい。
- ・「G-WALK+」の周知・広報事業として、加入事業所への周知を行っている。支部の職員も積極的に活用し、52名の職員が協会けんぽのグループに登録しており、職員を対象とした歩数計測イベントでは、上位の職員に表彰を行っている。
- ・3/10に厚生労働省健康局が開催する「地域・職域連携推進関係者会議」で、保険者を代表してシンポジウムに参加する。シンポジウムについては、保健衛生関係、労働衛生関係、保険者関係が対象となっており、協会けんぽとしての取組や群馬県、県内市町村との連携事業などについて報告する予定としている。保健衛生関係については島根県、労働衛生関係については沖縄労働局から発表がある。

<高崎健康福祉大学 渡辺構成員>

資料3（44ページ）に基づき説明

- ・今年度に予定していた公開講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。
- ・禁煙治療報奨制度を実施しており、禁煙を希望している職員や学生を対象に附属のクリニックの禁煙外来で、プログラムを完了した方に対して報奨金 2 万円を進呈している。2017 年から実施しており喫煙者も減ってきたことから、今年度の実績は 0 人となっている。
- ・また、若い人が食文化の継承に対する関心が薄い傾向があることから、本学の学生を対象に食文化や郷土料理の興味関心を高めることを目的に動画の作成・配信事業を実施した。

（質疑応答）

- （座長）禁煙治療報奨制度については2017年から実施しているとのことだが、この制度に応募する職員や学生は年々減ってきているのか。また、学内は禁煙となっているのか。
- （渡辺委員）昨年度は5名、今年度は0名となっており、希望者が減っている。学生の中でも喫煙経験者が減ってきている。また、敷地内は禁煙である。
- （委員）禁煙治療報奨制度についてお聞きしたい。この制度を利用して1回は成功したが、止められず、もう1回行おうという時も適用されるのか。
- （渡辺委員）禁煙治療の流れとして12週間の間、5回診療があり、禁煙の達成を確認するということで区切りとしている。以降、たばこを吸い出したという話は聞いていないが、完全に吸っていないという確認はできていない。
- （委員）吸い出した人がいないということで、成功していると考えても良いのではないか。自身の地区でも地域・職域の会議を主催しており、禁煙治療もお金がかかるからやりたくないという人が多く、お金の問題は重要である。企業側にとっては禁煙に成功して健康に働いてもらい、たばこを吸いに行く時間のロスもなくなるので、就業効率がよくなるという観点からも2万円はペイできるのではないかと考える。各企業へも成功事例の取組として紹介していきたい。
- （渡辺委員）5回の保険診療で自己負担金額が2万円となると考えると、本人としても良い話である。是非、他の団体へも広まっていけばと思っている。当大学でも続けていきたい。
- （座長）禁煙外来は6ヶ月空ければ、失敗してももう1回挑戦できる。ペイできるという事に関しては、2万円は企業として見れば、従業員の健康管理について責任を持って行っていかなければならないと考えると非常に良い取り組みと考える。是非紹介して欲しい。
- （座長）45ページは、産業保健総合支援センターから御提出いただいた、R3年度の認定産業医の研修やセミナーの一覧表である。認定産業医の研修についてはWEB開催が難しく、現地に行かないと認めてもらえない厳しい研修である。コロナ禍の中でも開催していただけるのは、大変有り難い。この場を借りて感謝申し上げる。

(3) 第3次群馬県食育推進計画の最終評価案について

事務局から、資料4に基づき説明

- ・資料4 第3次群馬県食育推進計画の最終評価案について

(質疑応答)

(座長) アウトプット指標、アウトカム指標に関しては、コロナの影響はあったのか。

(事務局) アウトプットについては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のためできなかったものが多数あり、Eの「評価困難」が46.8%と半分になっている。アウトカムは調査できた直近の結果を用いている。また、コロナの影響でできなかった部分についてはコロナ以前の値を使っている。

(4) 令和3年度県民健康・栄養調査の実施について

事務局から資料5に基づき報告

- ・資料5 令和3年度県民健康・栄養調査の実施について

(質疑応答)

(座長) コロナ禍で生活習慣調査を実施するだけでも大変な苦労があったかと思う。自身も栄養学を専門としているので、厚生労働省のデータを閲覧するが、令和2年度、3年度は中止となっている。協力率も64%ということでご尽力いただいたのだと思う。苦労はあったか。

(事務局) 協力率については途中集計をして保健所へ連絡し、保健所の担当者から地区の区長さんに相談するなど、連携して実施することができありがたかった。

(5) 報告・情報提供について

事務局から資料6に基づき報告

- ・資料6 健康フェスタの(食育・CKD)、和食文化「絵手紙コンテスト」の実施について

(質疑応答)

(委員) 絵手紙については多くの作品が集まって良かった。どのような作品があったのか。

603点の応募があったとのことだが、入選作品以外は見られるのか。

(事務局) 一例であるが、筆で迫力のある作品や暖かい雰囲気のある作品があった。応募いただいた作品は県のホームページも載せられるように準備していきたい。

6. 閉会